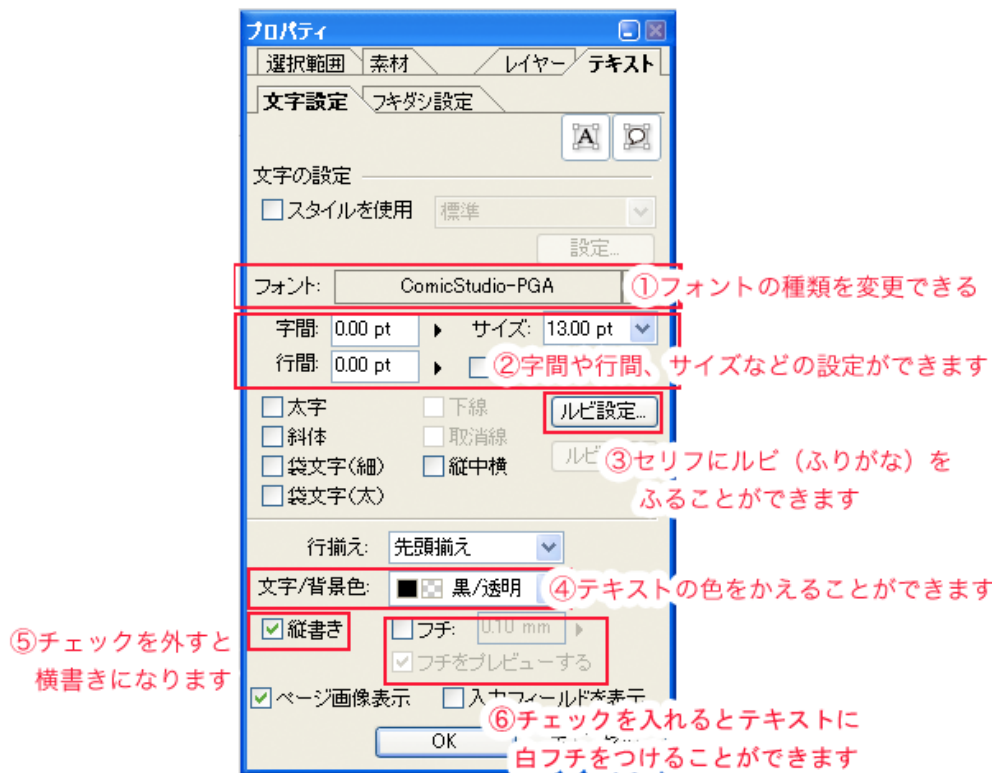


フキダシのちょっとしたテクニック ～そして完成へ～

セリフが入り、フキダシの調整もできました。今回は最後に、テキストの調整の仕方とセリフを入れて、「これはどうすれば……」と思った時に使えるテクニックを紹介しようと思います。

テキストを調整しよう

入力したテキストを調整していきます。プロパティパレットの「テキスト」タブをクリックして、「文字設定」タブをクリックすると、入力したセリフの調整ができます。「文字設定」タブでは、フォントの種類やサイズ、行間・字間の調整や文字に白フチをつけたりすることができます。



1 フォントの種類を変えたい！

変更したい部分を選択後、「フォント」で使用するフォントを選びます。

2 行間・字間を空けたり、文字のサイズを調整したりしたい！

変更したい部分を選択後、それぞれ、「字間」、「行間」、「サイズ」のところで設定できます。

行間……打ち込んだ文章の行と行の間隔を調整します。「2pt」くらいにしておく、読みやすいです。

字間……字と字の間隔を調整します。マイナスにするとつまる感じになり、プラスにすると広がる感じになります。

サイズ……文字の大きさです。原稿のサイズにもよりますが、9～13ptの間で設定すると読みやすいかと思います。

3 セリフにルビを振りしたい！

ルビを振りたい部分を選択し、「ルビ設定」を押すとセリフにルビを振ることができます。解除したいときは再び選択して、「ルビ解除」を押します。

4 テキストの色を変えたい！

テキストの色を変えたいときは、「文字／背景色」で色を選びます。

5 横書きにしたい！

縦書きのチェックを外すと横書きにすることができます。

6 文字に白フチをつけたい！

「フチ」のチェックボックスにチェックを入れ、フチのサイズを指定します。「フチのプレビューをする」にチェックを入れると画面上で確認できます。

Point

スタイルの設定を活用しよう！

ComicStudioでは「スタイルの設定」を行うことが出来ます。これは、使用するフォントやサイズ、行間などを設定しておいて簡単に呼び出して使うことができる機能です。キャラごとにセリフのフォントを変えたい時など、あらかじめ設定しておくことで楽です。それ以外は、基本的に「スタイルを使用」のチェックボックスは切っておくことをオススメします。

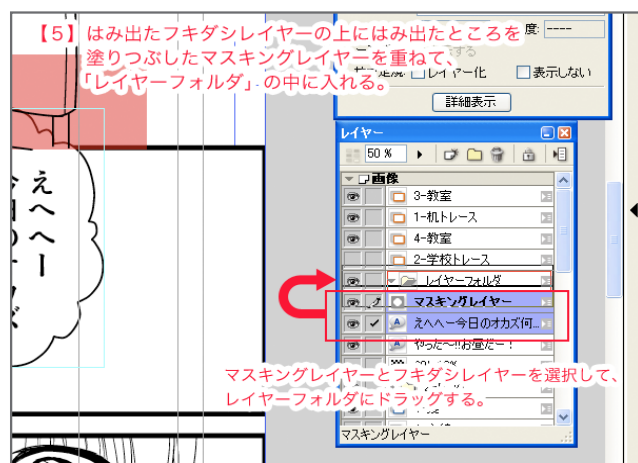
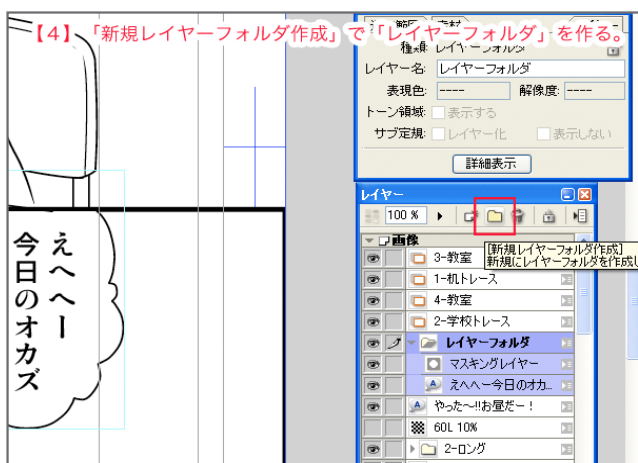
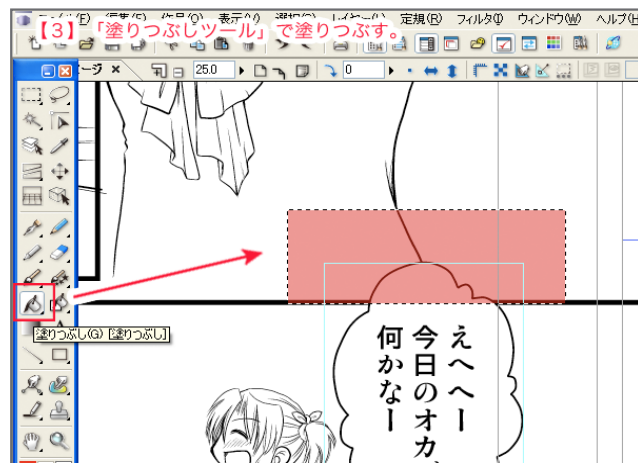
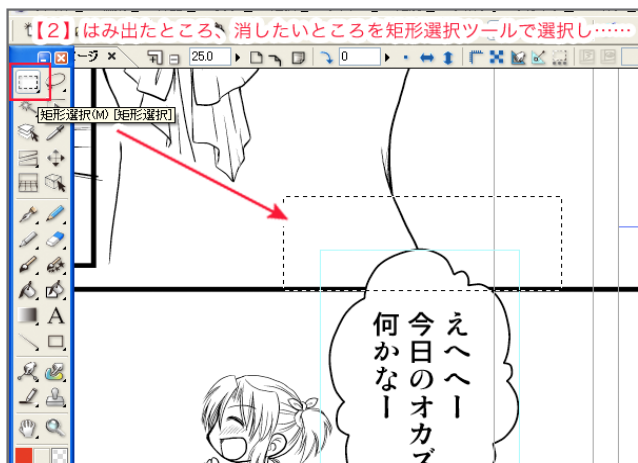
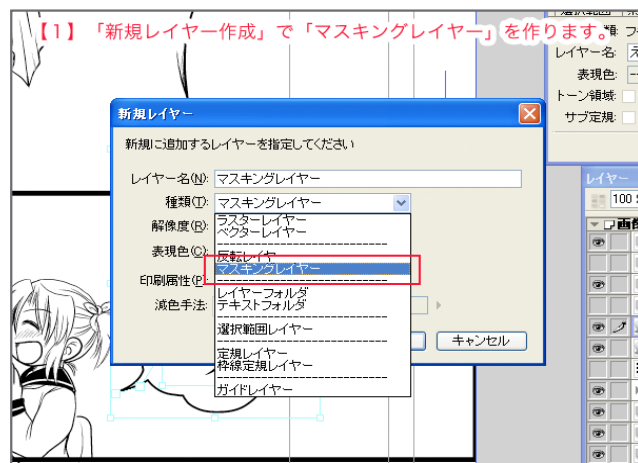
Point

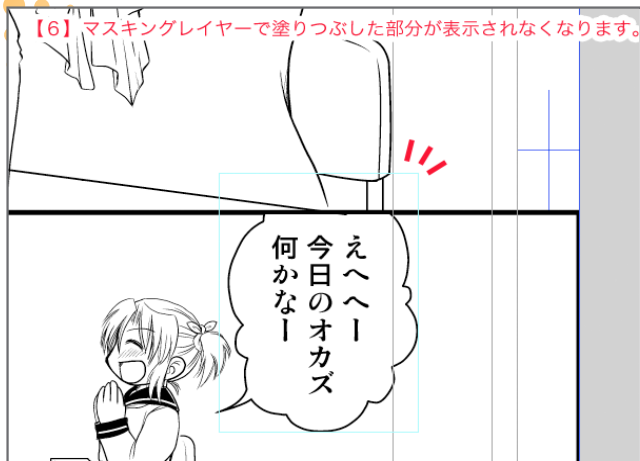
「縦中横」って？

「縦書き」にチェックを入れた時にだけ選択可能になる、ルビ設定の左側にある「縦中横」。これは何かというと、ComicStudioでは半角の文字を入力すると、自動的に並べて表示してくれます。これを切りたい時、半角文字を縦に並べたい時は、半角文字のところを選択して、このチェックを外してあげればOKです。

フキダシがコマからはみ出た時は……

フキダシのコマからはみ出てしまった部分を消す場合は、マスキングレイヤーを使います。

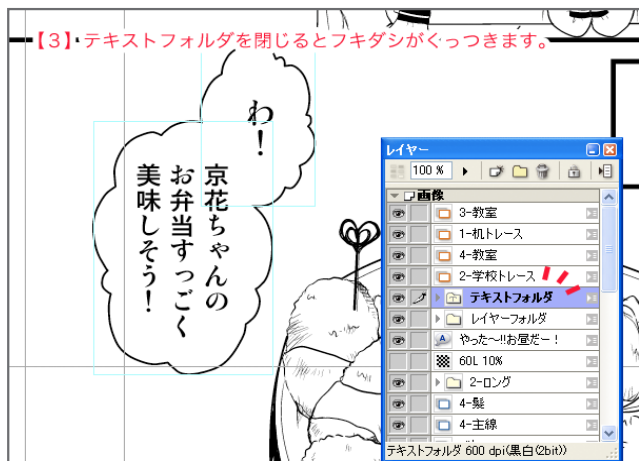
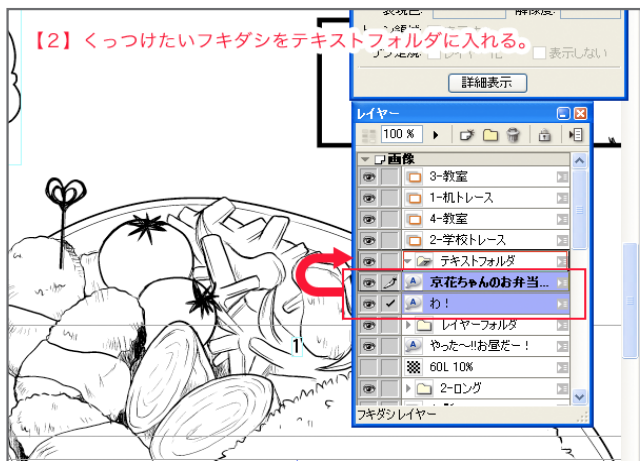
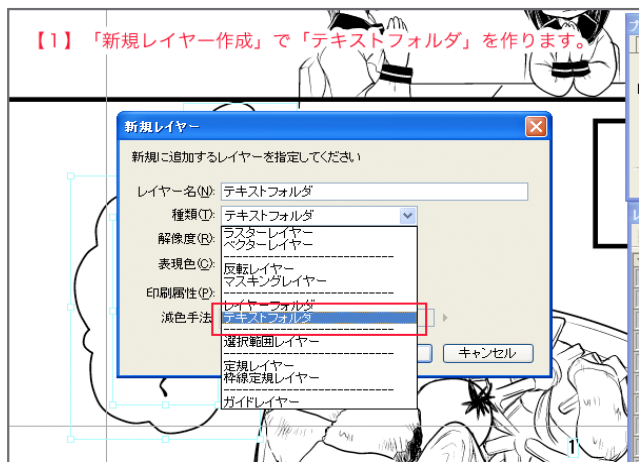




フキダシを移動したいときは、このフォルダごとレイヤー移動ツールで移動すればOKです。

フキダシを2個くっつけたい！

フキダシを2個くっつけたい時は、「テキストフォルダ」で簡単にくっつけることができます。



テキストフォルダに入れたフキダシレイヤーは、かさなったところがつながって表示されるという特性があります。(書き出しやプリントアウトするときもつながったまま出力されます。)

この機能を使うと、簡単にフキダシをくっつけることができます。またテキストフォルダから出したり、テキストフォルダを閉じると、フキダシの結合が解除されます。フキダシの中にトーンを貼る設定にしていると上手くくっつかないので、これをやるときは、中を白で塗りつぶすようにしておきましょう。

さて、セリフを入れたらついに作品も完成です。今回は完成前の確認と仕上げをしていきます。